仙建協と市民みんなの情報マガジン

フォーサイト

FORESIGHT

巻頭特集

雨水災害に備える
―建設が進む災害対策施設―

フォーサイト・ドクター　放置しないで！そのいびき

〈企画特集〉

見たい知りたい！地元建設企業 第2弾

在仙2大学が企業訪問ツアー

河川や道路のインフラ守る―地域の安全支える建設業

協会内・外で活躍する安全指導員

〈座談会〉

仙台工業高校在校生&卒業生

2023 No.67

未来へつなぐ　杜の都のまちづくり
(一社)仙台建設業協会

仙建協と市民みんなの情報マガジン

フォーサイト

FORESIGHT

2023 No.67

フォーサイトって何？
仙台市の地域建設業者で組織する仙台建設業協会（仙建協）が発行する無料の地域情報マガジンです。本来の意味は「先見の明」で、「仙建協」との韻を踏んでおり、仙台の未来を見通す内容とする願いが込められています。

CONTENTS

02 巻頭特集 **雨水災害に備える —建設が進む災害対策施設—**

06 フォーサイト・ドクター **放置しないで！そのいびき**

07 企画特集 **見たい知りたい！地元建設企業 第2弾 在仙2大学が企業訪問ツアー**

11 **河川や道路のインフラ守る —地域の安全支える建設業**

13 **協会内・外で活躍する安全指導員**

14 座談会 **仙台工業高校在校生＆卒業生**

17 **仙建協だより**

（一社）仙台建設業協会 会員会社

【青葉区】
熱海建設㈱
㈱熱海工務店
㈱熱海店
㈱阿部和工務店
阿部建設㈱
㈱石井組
遠藤建業㈱
奥田建設㈱
金福建設㈱
㈱小松建設
庄子建業㈱
㈱鈴木建設
仙建工業㈱
千田建設㈱
東北共栄建設㈱
㈱東北ロンテック
銅谷建設㈱
日建工業㈱

【青葉区】
㈱橋本店
東日本コンクリート㈱
㈱広瀬組
㈱深松組
宮環建設㈱
ワーカー工業㈱

【泉区】
赤坂建設㈱
㈱泉工務店
海道建設㈱
㈱さとう総業
東北グレーダー㈱
中田建設工業㈱
㈱桝田組
丸武建設㈱
㈱三浦組

【宮城野区】
栄喜工業㈱
奥山工業㈱
㈱鎌田建設
後藤工業㈱
仙台アスコン㈱
仙台土木建築工業㈱
㈱髙工
鷹觜建設㈱
㈱丹勝
中城建設㈱
長谷川建設㈱
㈱丸鹿
㈱湯目建設
㈱渡邊舗装工業

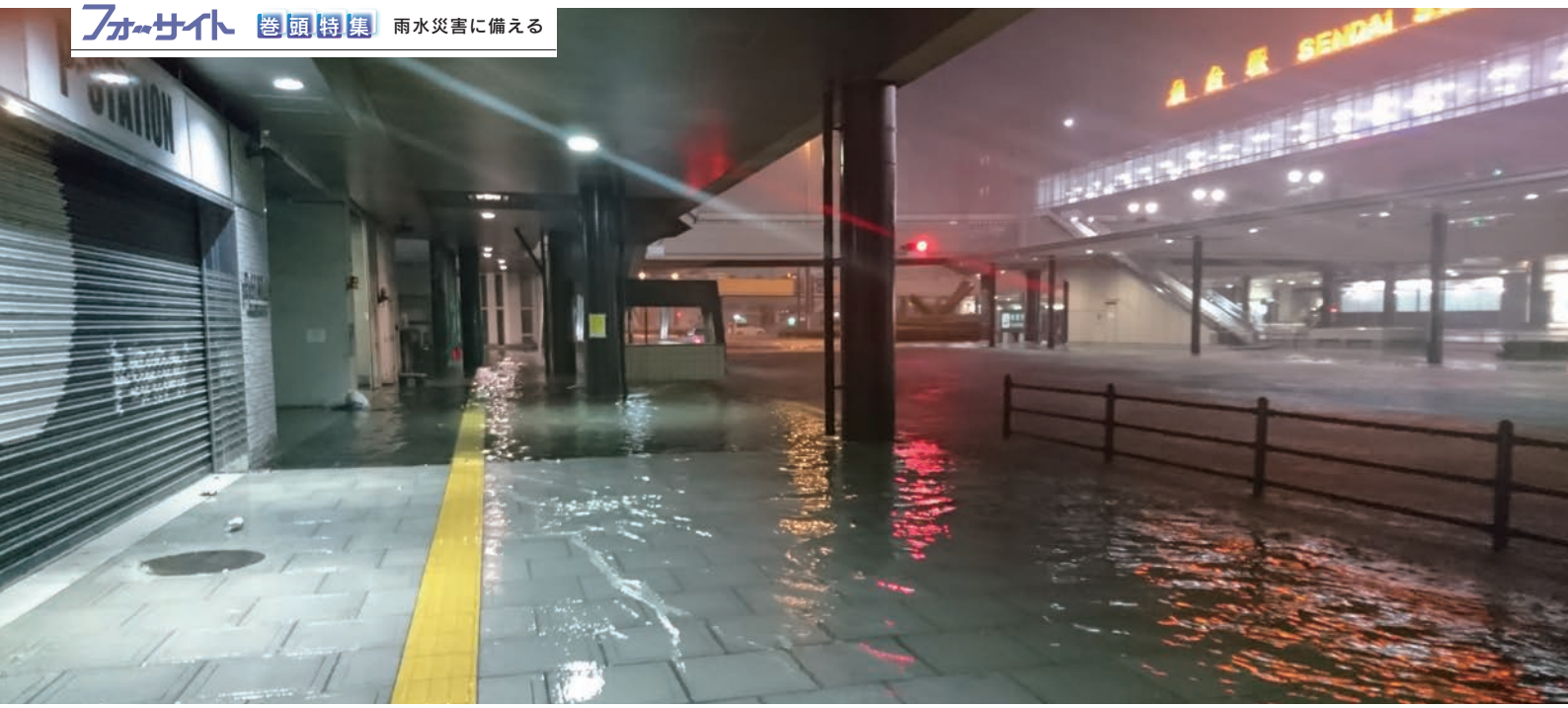
【若林区】
遠藤工業㈱
遠藤吉照土建㈱
皆成建設㈱
㈱加賀
木皿建設㈱
栗村建設興業㈱
サイト工業㈱
㈱佐元工務店
仙舗建設㈱
㈱丹秀工務店
㈱千葉建設
東北ニチレキ工事㈱
日道建設㈱
ヤマトワーク㈲
若葉建設㈱

【太白区】
㈱阿部砂利建設
河北建設㈱
㈱柴田建設工業
㈱ショウエー
伸和興業㈱
通信道路㈱
㈱東北リアライズ
㈱永岡
㈱日啓工業
㈱ビルド
北都ハウス工業㈱
㈱丸三建設興業
山辰建設㈱
陽光建設㈱

【富谷市】
大川工業㈱

【黒川郡大和町】
大和建設㈱
八嶋建設㈱
㈱吉田工務店

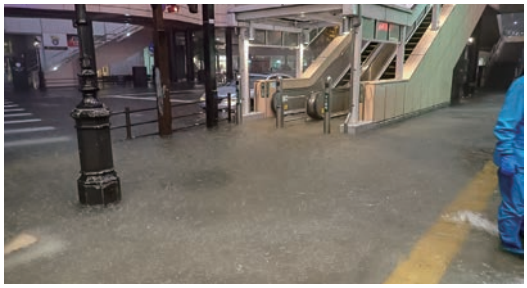
【黒川郡大衡村】
㈱松川土木



令和元年東日本台風による市内中心部の被害

令和元年東日本台風で冠水する仙台駅前

名掛丁1号線



アエル前

仙台駅前

建設が進む災害対策施設

巻頭特集

雨水災害に備える

仙台市では、昭和30年代（1955年ころ）からの急激な都市化により地表がアスファルトやコンクリートで覆われたため、雨水が大量に下水道管に流れ込むようになりました。JR仙台駅周辺を中心に、雨水排水施設の能力不足が生じており、大雨時に浸水被害が発生する可能性があります。さらに近年は、気候変動により豪雨が頻発化・激甚化し、さまざまな被害の危険性が高まってきました。市内でも令和元年東日本台風時などに各地で冠水等の被害が起こっています。

これまでも市では、1986年8月の台風第10号による集中豪雨で甚大な被害を被ったことを契機に浸水対策の計画を見直し、浸水リスクが高い地区から優先的にポンプ場や、雨水幹線などの施設整備を進めてきました。

さらに、2019年に国土交通省において、雨水処理を担う大規模な下水道施設の設置・改築を集中的に支援する、「大規模雨水処理施設整備事業」が創設されました。市では、都市機能の集積する仙台駅西口周辺などの浸水被害を繰り返す地区を中心に、「仙台市仙台駅西口地区大規模雨水処理施設整備事業計画」を策定し、おおむね10年に一度の頻度で降る1時間に52ミリの大雨を想定して雨水対策施設の整備などを進めています。

今回は、豪雨などの自然災害から市民の安全・安心な生活を守る大切な役割を持つ、建設が進む災害対策施設を紹介します。

2023年9月、大雨の影響で仙台市役所前が冠水しました。

降雨量データ	
令和元年東日本台風	時間最大63.0㎜
2023年9月大雨	時間最大44.5㎜

仙台市内で進む冠水対策事業

MAP Ⓐ

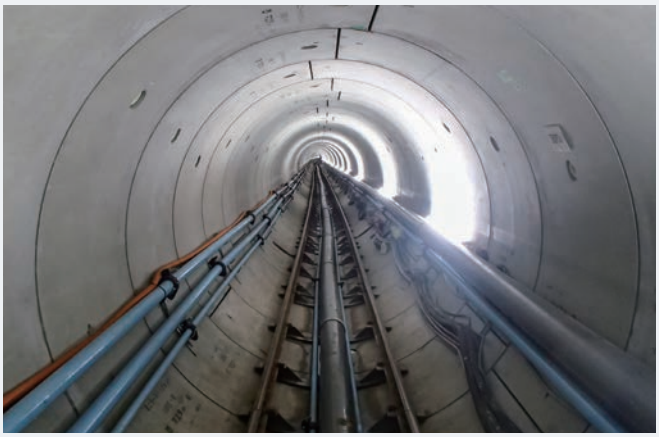
広瀬川第３雨水幹線工事１

施工 | 鴻池組・西武建設・あおみ建設・鎌田建設JV

ＪＲ仙台駅西口地区の下水道は、明治から昭和初期に整備が進みました。しかし、その後の都市化の影響により、地面への浸透率が低下したことで流れ込む下水量が増え、大雨時に流下能力が不足する事態となっています。市は、浸水被害を軽減するため、雨水幹線などを建設する「仙台市仙台駅西口地区大規模雨水処理施設整備事業」を進めています。

現在は、この事業の中核となる「広瀬川第３雨水幹線工事１」（施工＝鴻池組・西武建設・あおみ建設・鎌田建設ＪＶ）を施工中です。同工事は、ミニシールドとシールド工法の２区間で延長2,441mの幹線を整備。青葉区花京院１丁目のＪＲ高架橋付近から南下して、五橋公園地下で流入管と合流し、東二番丁通の地下を通り、愛宕大橋北側の土樋緑地地下で広瀬川に放流します。工期は2021年３月から24年９月末まで。23年９月末時点では、ミニシールドマシンによる1,612mが開通し、シールドによる残区間掘削に向けた準備に着手していました。

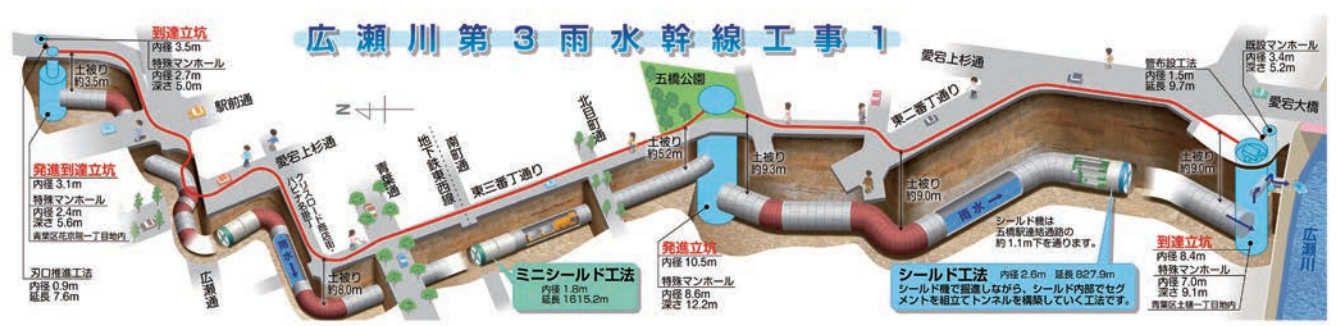
シールドマシン


管路内部

現場所長の話

さまざまな地でシールド施工などの実績がある越智創所長（鴻池組）が現場を指揮しています。越智所長は、掘削において土の取り込み量と掘削速度のバランスを管理して、陥没事故防止に努めていると説明。また「4年間と長い工期なので地域活動にも積極的に貢献していきたいです。振動・騒音等を最小限にとどめ1日も早く安全に工事を完了できるように努力します」と力を込めました。

越智所長



事業の説明図

MAP B

西原雨水ポンプ場建設工事７（土木）

施工 | 橋本店・河北建設JV

仙台市東部に位置する宮城野区の福室排水区は、2014年に整備された西原雨水ポンプ場（１期工事）により雨水を仙台港に排水していますが、令和元年東日本台風などでたびたび浸水被害が発生しています。そこで「福室排水区大規模雨水処理施設整備計画」を策定し、西原雨水ポンプ場の２期工事としてポンプの増設を行うこととなりました。同事業により福室排水区525.6ha、多賀城市からの流入による19.9haの計545.7haの排水をカバーできる予定です。

現場の様子

現在は、ポンプ場の地下構造物などを建設する「西原雨水ポンプ場建設工事７（土木）」が橋本店・河北建設ＪＶの施工で進められています。工期は、2022年３月から24年12月までで、進捗率は23年８月末時点で53%。地下構造物設置（地下14m）に向けた掘削作業などが進められていました。

増設後の西原雨水ポンプ場

現場代理人の話

現場を指揮する橋本店の及川聡現場代理人は、西原雨水ポンプ場の１期工事も担当しました。それらの経験を活かすとともに「地元の方、発注者、工事関係者を円滑にまとめていきたいです」と意気込みを語ってくれました。

及川さん

MAP C

扇町一丁目公園調整池建設工事

施工 | 深松組・髙工・丸鹿・JV

宮城野区の日の出町付近は、従来から大雨時の冠水被害などに悩まされてきました。雨水排水施設の能力不足への対策として、雨水を一時的に貯留する施設の整備を行う「日の出町一丁目地区大規模雨水処理施設整備事業計画」が策定されました。

現場の様子

この計画では、雨水を流す雨水管（雨水管工事１・２）や下水道が流しきれなくなった雨水を一時的に貯める雨水調整池を建設する予定です。貯めた雨水は晴れた日に既設管へ排水され、次の大雨に備えて空の状態になります。

完成予想図

このうち、扇町一丁目公園付近で調整池を整備する「扇町一丁目公園調整池建設工事（土木）」（工期＝2023年３月～25年10月）では、深松組・髙工・丸鹿・ＪＶが施工を進めています。23年９月上旬では、地盤改良工が行われており、進捗率は約５%程度でした。

現場代理人の話

現場は、経験豊富な石母田知己さんと、初の現場代理人となる佐々木悠里花さん（深松組）が担当しています。

石母田さんは「地下水位が高い地域なので施工時の出水をできるだけ抑えるよう、鋼矢板に止水材（パイルロック）を塗るなど工夫しています。この工事を通じて少しでも冠水対策に貢献できればうれしいです」と意気込みを語ってくれました。また、佐々木さんも「これまで以上に責任感をもち、無事故・無災害で竣工を迎えたいです。これからも皆さんの力を借りながら経験を積んでいきたいです」と意欲を示しました。

石母田さん（右）、佐々木さん

MAP D

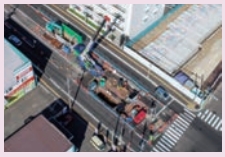
第３南蒲生幹線切替工事５・６

施工 | 橋本店

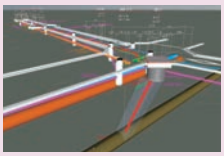
既設の第１・第２南蒲生幹線は市内で発生する汚水の約７割を流している最も重要な下水管です。しかし、建設されてから長期間が経過し、点検や改築を行うことが差し迫った課題となっています。東日本大震災では両幹線ともに流下機能は確保されましたが、同様の災害が発生し、流下能力が失われた場合、市内の広範囲で汚水を流せない事態が想定されます。

工事5の現場の様子

一方、両幹線は現在、常時満水で汚水が流れており、点検や改築を行うためには代替管が必要となります。そこで代替幹線となる「第３南蒲生幹線」を整備する事業を行うこととなりました。同幹線は点検・改築時の代替管となるだけでなく、耐震性の高いものとすることで、災害時に処理区全体の流下機能を確保するバックアップ幹線にもなります。


工事5の上空写真

既に第３南蒲生幹線は敷設されており現在は、圧送管の組み入れや既設下水道（広瀬川・梅田川・南小泉・志波東）から第３南蒲生幹線への流入管きょ、マンホール等を整備する「第３南蒲生幹線切替工事５・６」（施工はともに、橋本店）などが進められています。23年９月下旬で進捗率は、工事５が約62%、工事６が約12%程度でした。


工事6のCIM画像

現場代理人の話

工事5は赤間翔さん、工事6は大澤宜広さんがそれぞれ担当しています。赤間さんは「道路の真ん中での施工なので安全第一を念頭に、きれいに仕上げていきたいです」と語り、大澤さんは「近隣の協力を得ながら円滑に作業を進め、無事故・無災害で竣工を迎えたいです」と意欲を示しました。

大澤さん（左）、赤間さん

れんが下水道内部

仙台市の れんが下水道を探検

仙台市内には、明治30年代（1897年ころ）に築造された、れんが造りの下水道管が3カ所残っています。それらは戦火や東日本大震災などに耐え、現在も雨水の放流などで使用され続けています。歴史的に貴重なれんが下水道は、その価値が認められ、2010年度に土木学会選奨土木遺産に認定されました。

青葉区西公園C60広場（SL広場）付近では、地下に埋設されたれんが下水道を実際に見学できる施設が整備されており、不定期に開催される見学会でその姿を見ることができます。公開されているのは、青葉区の国分町通付近と西公園付近を結ぶ定禅寺通幹線の全長約40m区間です。

見学会の申し込みは「れんが下水洞窟」で検索ください。

らせん階段を下っていくと…

れんが下水道の入り口が姿を現す

不定期で見学ツアーが行われる

地上からでものぞくことができる

映画の撮影にも使用

れんが下水道は、仙台市在住の作家、伊坂幸太郎さん原作の映画「ゴールデンスランバー」の撮影にも使用されました。堺雅人さん演じる主人公・青柳雅春の逃走シーンに登場しました。

昭和10年に北六番丁で行われた下水道工事

下水道整備の歴史 Histry

仙台市の下水道は、江戸時代に伊達政宗公の命により造られた「四ツ谷用水」が起源となっています。四ツ谷用水は、城下町に生活用水を運び、生活排水を流し去ることで都市を清潔に保ちました。明治時代になると、馬車交通に邪魔な四ツ谷用水は、道路脇に移設されたり埋められたりしました。それが原因で、衛生環境が悪化し、コレラや腸チフスといった伝染病が流行してしまいました。

そこで市は、1899年（明治32年）に第1期下水道事業を開始しました。また、1902年（明治35年）には、全国で初めて旧下水道築造認可を取得し、全市域で計画的に工事を実施しました。「れんが下水道」はこの事業の一部として1900年に造られた下水道管です。東京、大阪に次いで国内3番目に整備着手した長い歴史を持ちます。

放置しないで！ そのいびき

「いびき」とは何か―。いびきは、「睡眠中、鼻やのどがせまいためにおきる呼吸音」などの説明があります。では、「寝息」とは―。「寝ているときの呼吸あるいは呼吸音」と規定されています。

「ベットパートナー（ＢＰ）のかくのは、結婚してすぐは寝息で、時が経つといびきになる」と言われた有名な睡眠研究の大家がおられます。一説には30ｄＢ以上がいびきとされ、加齢とともに「音が大きくなる」ので、ある意味正しいと思います。ただ、同じ大きさであっても愛情が減少するといびきと感じるようになるのかもしれません（笑）。

では放置して良いいびきと、そうでないいびきはどう違うのでしょうか？

まずは成人で無呼吸が10秒以上ある場合は、医師に相談した方が良いかと思います。現在は無料のアプリがあり、ＢＰがいない方でも手軽に計測が可能です。コロナ禍で見掛けるようにになったパルスオキシメーター（ＰＯ）（余談ですが、東京都は貸出したものがかなり戻ってこない。それに比べ仙台の返却率は高率、東北人の誇るべき気質と考えます）の値が、93％を割るようなら要注意ではと考えます。ＰＯは、コロナ禍のおかげで比較的安く手に入れることができるようになりました。ただ自動計測機能が付いたものは高価であるため、いびきをかいている睡眠時に、優しく指に付けてくれるＢＰが必要です。

状態チェックし、早期対応

私は耳鼻科専門医の中でも小児耳鼻科と鼻科を専門としていて、子どものいびきについて頻繁に相談を受けます。未就学児のいびきの多くの原因が扁桃肥大アデノイドとアレルギー性副鼻腔炎です。症状が高度または無呼吸の場合は、手術が適応となることがあります。その患者のお母さまから「主人のいびきもひどく、無呼吸の症状が出てきた」と相談を受けます。私は「ＢＰとして無呼吸の状態をチェックしてください。またいびきがひどい時の値を記録してほしい」と助言します。

ご本人の受診を推奨しますが、来られないことが多いです。再びご相談を受けたときには「無呼吸がひどいと心血管系に負担をかけ、脳梗塞、心筋梗塞になりやすいです。受診する気がないなら小さい子どももおられますし、生命保険に入ることをお勧めします。ただ、一発で逝ってくれれば良いのですが」と冗談交じりに申し上げます（笑）。

いびきがあり、ＰＯの値が低い場合は、血中酸素が減少して、赤血球が増加し血がドロドロ、血管が詰まりやすくなります。重症の無呼吸、ＰＯの値の低下を放置すると「７年後に健康でいられる人の割合は７割減少する」と言われており、健康寿命を延ばすためには、「たかがいびき、されどいびき」と正しい知識を持ち、早期から対応することが望ましいと思います。

最後に検査治療について。まずはＰＯあるいはアプリなどでの自主検査をお勧めします。いびきの悪化因子は、アレルギー性鼻炎、副鼻腔炎、肥満などですので、それに対応する指導治療を開始します。これで改善がない場合は、アプノモニターなどでの精査、あるいは入院して脳波を計測する検査を行います。また顎が小さい人の場合は、必要があれば歯科でマウスピースを作成してもらい、それでも改善しなかった場合は、持続的陽圧呼吸装置（ＣＰＡＰ）を装着します。睡眠時無呼吸の治療は、鼻の通気性を良くするだけではあまり改善しないからです。検査治療は、耳鼻咽喉科のほか、呼吸器内科、循環器内科などで行っています（無呼吸については、2017年に61号で岡部慎一先生のお話がありますのでご参考になさってください）。

いびきで悩んでいる方。健康寿命を延ばしたいのであれば、無料アプリやＰＯでご自身の状況をチェックしましょう。「もう少し様子を見る」という判断はもしかすると“冥途の旅の一里塚”となるかもしれません。

綿谷 秀弥（わたや ひでや）

医療法人社団秀薫会池田クリニック理事長、仙台市医師会理事、東北大学臨床教授

■経歴
1986年　東北大学医学部医学科卒業
1988年　東北大学医学部大学院医学研究科外科学系耳鼻咽喉科専攻入学（1990年米ワシントン州立大学留学）
1992年　東北大学医学部大学院医学研究科外科学系耳鼻咽喉科専攻卒業
1992年　東北公済病院耳鼻科医師
1993年　東北労災病院耳鼻科医師
1995年　東北労災病院耳鼻科副部長
1998年　山形市立病院耳鼻科医長
1999年　仙台社会保険病院耳鼻科科長
2001年　池田クリニック院長
2004年　池田クリニック理事長

■所属学会
日本耳鼻咽喉科学会
日本アレルギー学会
日本小児科耳鼻咽喉科学会など

■資格
耳鼻咽喉科専門医
医学博士

東北工業大学 TOHOKU INSTITUTE OF TECHNOLOGY　東北学院大学 LIFE LIGHT LOVE SINCE 1886

在仙2大学が企業訪問ツアー

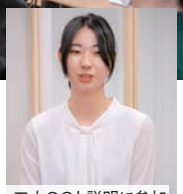
仙建協と地元大学の合同主催による企業見学会が昨年に引き続き行われました。第2弾となる今年は東北工業大学に加えて東北学院大学が初参加し、東北工大は建築コースと土木コース、東北学院大は土木コースで実施。8月7～9日の3日間と9月15日の4回に分けて会員企業12社を訪れ、各社の特長や会社の雰囲気などを体感してもらいました。

東北工業大学・建築コース

地域の課題を地域資源にする取り組みを紹介

中城建設㈱

宮城野区幸町


工大OGも説明に参加

地域課題を「資産に」

建設事業のほか、障がい者福祉や保育園の運営、不動産ファンドなど多様な事業を行っている会社です。結城創社長は学生に向け、「建てるだけでなく、地域の課題を地域の資源に変える取組みをしている」と話しました。

説明会では、工事の受注から引き渡しまでの流れや、同社が行っている事業について説明がありました。2023年に始まった農福連携事業「まちワクプロジェクト」は、障がい者が自立した生活を送るための就労や社会参画を支援するもの。同社がグループホームを建て、そこで暮らす利用者が農業を通じて共生する社会を実現しています。

結城社長が展望を語る

これらの取り組みについて、真剣な表情で聞く学生の姿が印象的でした。

東北学院大学・土木コース

社内の雰囲気を体感

仙建工業㈱

青葉区一番町

JR東日本のパートナー企業

初めに人事部門の小室圭太さんは、「一般的な土木・建築分野に加えて線路部門を有しているのが大きな特長」と紹介。参加者らに「JR東日本のパートナー企業として公共（鉄道）インフラを日々支えている会社です。安定して受注があり、活躍の場も宮城県内にとどまらず東北全体で貢献できます」とPRしました。

また、質疑応答の中で安齋敦雄土木部次長は「土木設備のメンテナンスなど日々の仕事を通じて、東北の鉄道を支えていることが私たちの誇りです」や、線路部の今野恒志郎さんも「メンテナンスの仕事は成果が見えにくく派手さもありませんが、そのおかげで安全・安心や定時制を確保していると自負しています」と強く訴えました。

東北工業大学・建築コース

「みんなのひよこ園」を見学

皆成建設㈱

若林区六丁の目

「誰でも社長になれる」と語り掛ける南社長

誰でも社長になれます！

南達哉社長は、「名前の通り『みんながなれる』会社で、誰でも社長になることができる」と自社を紹介しました。

社員にいきいきと長く働いてもらうために設けている福利厚生制度を説明し、働きやすい職場をPR。本社の隣に企業主導型保育事業所「みんなのひよこ園」を開設し社員の子どもが通っていることや、残業を削減するためのスケジュール管理、人事評価制度、社内表彰、社内レクリエーションなど各種制度を、動画を交えて解説しました。

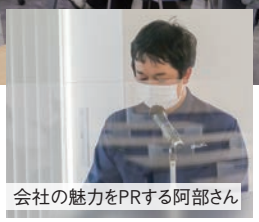
また建築事業部の宮田謙介主任は現場代理人の1日の流れを写真で紹介したほか、複数の業者や職人が入場することからコミュニケーションの重要性を訴えました。「多くの会社、人と一つの建物を建てることは達成感がある」とやりがいを語りました。

仕事のやりがいを語った建築部の宮田さん

東北学院大学・土木コース

奥田建設㈱

青葉区八幡



会社の魅力をPRする阿部さん

教育制度が充実しています

冒頭、横山徹常務は東日本大震災からの復興や頻発化・激甚化する自然災害での応急対応など建設業の役割のほか、同社が携わった工事などを紹介した上で「工事に伴う技術の進歩はめざましい。皆さんには基本を覚えるとともに身に着けて、日々進化する技術をしっかりと使えこなせる技術者になってほしい」とエールを送りました。

また、土木部の阿部淳さんは同社の魅力を「優良工事表彰の取得数が多い。現場での安全に力を入れている。教育制度が充実」などと紹介したほか、小坂篤志工事課長は橋梁下部工工事を例に受注から着工、完成までの流れを紹介。この中で小坂課長は「仮設の良し悪しが工事の進捗大きく影響します。まさに腕の見せ所です」と話し、技術者としての自信をのぞかせていました。

東北学院大学・土木コース

長谷川建設㈱

宮城野区新田

長谷川社長がやりがいをPR

地域密着をアピール

一行を出迎えた長谷川社長は「規模は決して大きくありませんが、地域密着でやりがいのある会社です。一緒にふるさとづくりをしましょう」とアピールしました。

得意分野として一般土木・建築のほか「下水道管の更生工事と道路の維持管理」の4分野を紹介。このうち下水道管更生工事について「仙台市の下水道の歴史は古く、明治時代から整備が始まりました。老朽化した既存の管を新たに取り付けることなく、そのまま利用できる技術が更生工法です。弊社では事前の調査から工事まで一貫して行えるのが強みです」と力説しました。

インターンシップにも力を入れ始めたということで、「皆さんの参加をお待ちしています」と呼びかけました。

東北学院大学・土木コース

日建工業㈱

青葉区二日町

説明する伝野業務本部長

ICT施工による高い技術力に感心

一般土木工事はもちろん、高速道路といった幹線道路から生活道路まで種類を問わず道路舗装工事を得意とする社の特徴を役員らが説明しました。

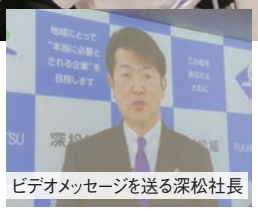
特に、舗装工事で使用するアスファルト合材などを製造・出荷するアスファルトプラントを「県内企業で所有しているのはわが社だけ」（伝野得男業務本部長）とストロングポイントとしてアピール。併せて東日本大震災直後は、県北の沿岸部などを中心に昼夜問わず稼働し、復旧工事に貢献したことも紹介しました。

CIMやMC（マシンコントロール）などによるICT施工の導入事例紹介では、大幅な工期短縮や高い品質を実現した成果としてみちのくi-Construction奨励賞や工事成績優秀企業といった受賞実績も紹介。参加者らはあらためて地元企業の高い技術力に感心していました。

東北学院大学・土木コース

㈱深松組

青葉区荒巻本沢



ビデオメッセージを送る深松社長

建設業にとどまらない多彩な事業を紹介

仙台建設業協会会長でもある深松努社長はビデオで登壇し、企業紹介を兼ねながらメッセージを寄せました。

この中で深松社長は、本業である建設業の分野にとどまらず不動産賃貸や太陽光、小水力発電といった再生可能エネルギー、宿泊施設などの沖縄開発事業、仙台市若林区藤塚地区に昨年オープンしたアクアイグニス仙台、さらには海外（ミャンマー）でのサービスアパートメント事業など多種多様で幅広い事業内容を紹介したほか、間もなく迎える創立100周年に合わせて、『オシャレ』なユニフォームを新調することも明らかにし、参加者は興味深く聞き入っていました。

最後に深松社長は「地域にとって“本当に必要とされる企業”を一緒に目指していきましょう」と呼びかけました。

東北工業大学・土木コース

東北ニチレキ工事㈱

若林区沖野

特殊車両の役割も学びました

道づくりを通して社会に貢献します

アスファルト材料ではトップシェアを誇るニチレキ（東京都）グループの一員として、道路舗装工事はもちろん道路インフラ材料の研究・製造・販売や調査・診断をはじめ道路・橋梁・鉄道に関わる材料提供まで行う同社。赤羽修社長は「道づくりを通して社会に貢献する会社です」とアピールしました。

ニチレキ本部から駆け付けた遠藤浩隆部長代理は、クイズなども交えながらアスファルト舗装の基礎のほか同社が開発した排水性舗装や遮熱性舗装、間伐材舗装といった最新技術を紹介しました。

このほか学生たちは棒状にした強度の異なるアスファルト材を手に取って、曲がり具合などそれぞれの特徴などを体感。屋外ではアスファルト舗装工事で使用する特殊車両を見学・試乗するなど、大学では学べない体験をしました。

東北工業大学・土木コース

VRによる現場のバーチャル体験

㈱橋本店TMセンター

宮城野区福室

VRなど最先端の技術を体験

橋本店が富谷市内で施工中の現場をリモートでつないで見学会を実施。工事監督の仕事について具体的に紹介しました。

現場からは、入社2年目の西出光希さんが工事の特徴や作業内容などを解説しながら、自身の経験談として「建設業に興味を持ったのは大学に入ってからですが、今では毎日楽しく仕事してます」としながら「1年目と違い、今年からは一人で丁張の作業を任されるようになりました。少しづつ独り立ちに向かっていると感じています」と充実感をアピールしました。

リモートで現場を見学

また、積極的に導入を進めているBIM／CIMの活用事例を動画で上映。効果やメリットなどを紹介したほか、VR体験などを通じて学生たちは最先端の技術に感心していました。

東北工業大学・土木コース

㈱東北リアライズ

太白区大野田

あいさつする渡部社長

法面工事のプロフェッショナル

ライト工業（東京都）のグループ会社として2001年創業の同社。渡部尚社長は開口一番、「特殊土木のパイオニアを目指し、特に法面工事を得意とするプロフェッショナル集団です」とPRしました。

東北工大OBでもある千葉克広部長は、施工例を紹介しながら「得意とする法面工事に加えて、軟弱地盤改良といった都市土木や、東日本大震災以降は一般土木工事でも着実に実績を重ねており、技術バリエーションには自身があります」と説明し、学生らは熱心に聞き入っていました。

このほかCSR活動として、みやぎスマイルサポートや同スマイルロードなどのほか、スポーツ（サッカー）を通じた社会貢献にも積極的に取り組んでいることをアピールしました。

東北工業大学・土木コース

皆成建設㈱

若林区六丁の目

南社長

長く働ける会社です

一行を出迎えた南達哉社長は「弊社の敷地内に保育園があるので、お子さんがいても安心して長く働ける会社です」とアピールしました。

同社では2018年に0～2歳児までの受け入れが可能な保育園を自社の敷地内に整備。以来、女性社員はもとより男性社員も子どもを預けているそうで、利用者から「送迎の負担がなく、何かあればすぐ駆けつけることができる」などの声を紹介しました。

さらに、「わが社の存在意義は『夢』『安心』『未来』を共に創り続けること。社員、関係者、地域そして人々が求める夢や目標を実現するため、仕事の品質を高めて提供し続けます」と訴え、最後に「建設業は人から頼られる仕事、素晴らしい仕事と自負しています。卒業後はぜひ、この業界に携わってください」とエールを送りました。

東北工業大学・建築コース

奥田建設㈱

青葉区八幡

山尾常務

求む！創造力がある人

初めに同社の建築を統括する山尾訓司常務は、「建築工事の約7割は公共工事で、特に宮城県発注を数多く施工している会社です」とPRしながら、同社が求める人材として①コミュニケーション能力がある人②創造力がある人③向上心がある人④投げ出さない人―を挙げました。

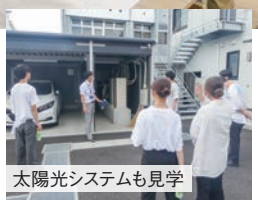
入社後について「20代で1級建築施工管理技士を取得、30代前半で現場所長、40代前半から管理職」といった具体的なビジョンを提示し、学生らは熱心にメモを取っていました。

入社2年目の加藤研世さんは、1日の作業の流れをを通してに若手社員の日常を具体像を示したほか、女性技術者も活用している現状を紹介しながら、「これを機に、ぜひ弊社に興味を持ってください」と呼びかけました。

東北工業大学・土木コース

伸和興業㈱

太白区大野田



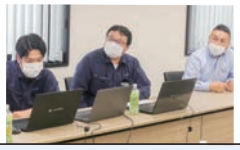
太陽光システムも見学

豊かな地域づくりに貢献する会社です

昨年夏に完成したばかりの真新しい社屋が一行を迎える中、田村恭男常務は学生らに「得意とする道路や海岸・河川、下水道といった公共土木工事全般を通じて豊かな地域づくりに貢献する会社です」と企業の特長を紹介しました。

ICT施工にも積極的に取りくんでいることを強調。UAV（ドローン）による測量データの活用や機械による自動施工など、建設現場ではいくつもの最新技術が取り入れられていることを説明し、学生らは大いに感心していました。

このほか、社屋に設置した太陽光発電の関連設備なども見学。最後に「東北工大OBは今のところ3人ですが、これからもっと増やしたいと思っています。卒業後は、是非一緒に働きましょう」と呼びかけました。



STUDENTS VOICE 参加者の声

東北工業大学

参加者》建築コース（3年生3人、2年生5人）、
土木コース（3年生10人、2年生4人、1年生1人）

参加の動機は？

➡多くの企業を一度に見学できる良い機会だったから ➡県内の建設会社を知りたかった ➡就職活動のため ……etc

参加して何を知ることができたか？

➡企業理念や事業内容、職場の雰囲気 ➡仕事で使用する重機や特徴ある仕事 ➡女性職員の活躍 ……etc

訪問して意外だったことは？

➡残業や育児のサポートなど手厚い企業が多い ➡働き方改革を積極的に取り入れている ➡フリーデスクを取り入れている ➡“これぞ現場”という仕事が少なかった ……etc

もっと説明してほしかった内容は？

➡採用情報 ➡給与や福利厚生・社員の男女比・働き方改革 ➡就職活動の際の面接について ➡女性社員の活躍状況 ➡現場での雰囲気 ……etc

東北学院大学

参加者》土木コース（2年生2人、1年生6人）

参加の動機は？

➡就職に向けてどんな企業があるのか知りたかった ➡建設業に興味があったため ➡将来の進路選択に役立つと思った ……etc

訪問して意外だったことは？

➡ICT活用が進んでいる ➡待遇が良い ➡転勤が少なく休日が多い ➡女性社員が少ない……etc

参加して何を知ることができたか？

➡女性の働き方 ➡土木の具体的な仕事内容 ……etc

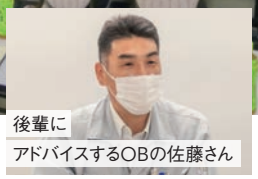
もっと説明してほしかった内容は？

➡仕事内容 ➡大学生のうちにしておくべきこと ……etc

東北工業大学・建築コース

阿部建設㈱

青葉区中江



後輩に
アドバイスするOBの佐藤さん

一般建築はもちろん、伝統建築にも強い会社です

一行を出迎えた鈴木勝之常務は学校や庁舎、マンション、店舗などの一般近代建築はもちろん、寺社仏閣など伝統建築にも積極的に取り組んでいることをPRしました。携わった施設に、誰もが知っている「定義如来西方寺（定義さん）」のほか青葉まつりの山鉾などが紹介されると、参加者らは興味深く聞き入っていました。

工大OBの奈良岡淳一伝統事業部部長は、さらに伝統建築の実績を詳しく説明。前述の定義さんは五重塔や本堂、寺務所、展示室などほとんどの施設に携わったほか、仙台市指定文化財・大願寺山門の修復などに貢献していると強調しました。

同じく工大OBの佐藤昌運さんは、学生時代の話も交えながら「同じ建築でもどの分野に進みたいのか、自分がやりたいことをしっかりと見定めて就職活動してください」とアドバイスしました。

河川や道路のインフラ守る

地域の安全支える建設業

市民生活を送る上で欠かせない道路や河川……。市民インフラを守るため、主に地元の建設企業が日夜活躍しています。道路整備が進み円滑に通行できるようになった一方で、この安全な状態を維持するのも建設業の重要な役割の一つ。また順調に流れる河川を維持することは、近年頻発する大雨による水害の防止にもつながります。今回は道路維持・除雪、河川管理をテーマとしました。安全な市民生活を送ることができる裏側には必ず建設業者がいます。身近だからこそ気付きにくい彼らの取り組みを紹介します。

河川の維持管理

人口減に備え団体管理

杜の都建設協同組合

仙台市内を流れる広瀬川の河川管理業務は、「杜の都建設協同組合」（深松努理事長）が担っています。宮城県内の河川管理は1つの河川につき1業者が担うのが一般的ですが、この宮城県発注の広瀬川の管理は支流5河川も含まれており、作業が広範囲のため複数の業務をまとめ複数年で発注する「地域維持型契約方式」（※メモ）を採用。県の発注案件第1号のモデル業務として2019年度から担当しています。

同組合は17年度、仙台建設業協会の会員のうち65社で発足しました。人口減少に歯止めがかからない国内では近い将来、「地域に建設業者がいない」といった事案が多発することが予想され、河川や道路の維持管理などの広い面積を管理する業務で、地域建設業者が担えなくなる可能性があります。同組合ではこれらを受注し、その業務を得意とする会員を選んで面積を割り振るなどして業務に取り組み、インフラ維持に努めています。

広瀬川の維持管理は、広瀬川、支流の斉勝川・芋沢川・大倉川・青下川・新川を対象としており、川の延長は計8万3,470m。会員企業の深松組、広瀬組、小松建設がそれぞれのエリアで河川巡視、河川点検、防除草、伐木除根、清掃、管理用通路補修などを行っています。業務の大半を占めるのが防除草（草刈り）や清掃で、川の流れを阻害するものを定期的に除去。緊急対応として川に転落した車の漏油処理をしたり、洪水の危険があるときに川に通じるゲートを閉鎖したりして、市民らの安全を確保しています。

地域維持型発注の導入は全国的に広がりつつあり、中長期的な業務を発注することで建設業の担い手を確保しようとする取り組みです。また、維持管理は切れ目なく行うことが重要とされ、住民や利用者の安心・安全につながっています。

伐採作業

事故車の漏油処理

MEMO メモ

地域維持型契約発注方式は、加速する人口減少を背景に国が進める発注方法の一つ。JVや杜の都建設協同組合のような団体が河川のほか除雪などの業務で採用され、全国で14道府県・1市が導入しています。宮城県発注案件では、23年度時点で河川管理のほか、道路・河川・砂防をまとめた業務など5つの業務をJVや団体が担当中。

道路の緊急対応・除雪

当番制で体制組む

仙台市が管理する道路の緊急対応や除雪は、地元建設企業が行っています。緊急対応は各区役所・支所が複数の企業を指定するなどしてローテーションを組んでおり、除雪は指名競争入札で受注した企業・協力会社がいつでも対応できるよう、態勢を整えています。

管理道路の異常について仙台市は、市民などからの通報を呼び掛けています。電話やスマートフォンのアプリで不具合の情報が寄せられ、配達を担当する郵便局員からも情報が届きます。この情報を基に区役所・支所の職員が現場を確かめ、建設機械を併用した作業が伴う場合など、職員による対応が難しい際に当番企業に処置を要請する仕組みになっています。なお仙台市は「緊急の場合は電話での通報を」と呼び掛けています。

市内5区2支所のうち青葉区道路課は毎年度、年度初めに複数社を緊急指定業者として指定。このほか、一般競争入札で年間を通じ管内の道路や関連設備などを修繕する管内工事業者を複数社選定しています。緊急指定業者は、月～日曜日までの1週間交代制で、春の大型連休・お盆・年末年始は1日交代制。早急に工事が必要なときは、緊急指定業者か、管内工事業者のいずれかが対応に当たります。他の区や支所も早急に対応できるよう、同様に企業を指定するなどして取り組んでいます。

業務に当たる大半が市内の道に精通する地元企業です。土木工事や舗装工事を専門としており、インフラの守り手として常に気を引き締めています。

このうち宮城野区を担当する渡邊舗装工業（渡邊友紀代表取締役）は、当番週にはシフトを組み、夜間や休日でも対応できるようにしています。要請があった際は、まず渡邊代表らが現場を確認して処置内容を検討。その後社員4～5人が駆け付け、道路の陥没や倒木などの通行の妨げになっているものに対する緊急工事を実施します。

緊急工事は、通常の工事のように事前告知ができないため交通渋滞が起こることも。早急に対応して道路を通行できるよう、作業効率の向上に努めています。

重機で倒木を取り除く

また除雪は、仙台市が車道除雪、車道凍結防止、歩道の除雪・凍結防止を複数の工区に分け発注。受注した会社が市からの求めに応じて除雪や凍結防止剤の散布などを行っています。

除雪や凍結防止剤の散布も地元企業が担う仕事の一つとなっています。渡邊舗装工業はこれまで、定禅寺通などの繁華街の除雪を担当。人や車の往来に気を付けながら2人1組、計4人で作業を進めてきました。

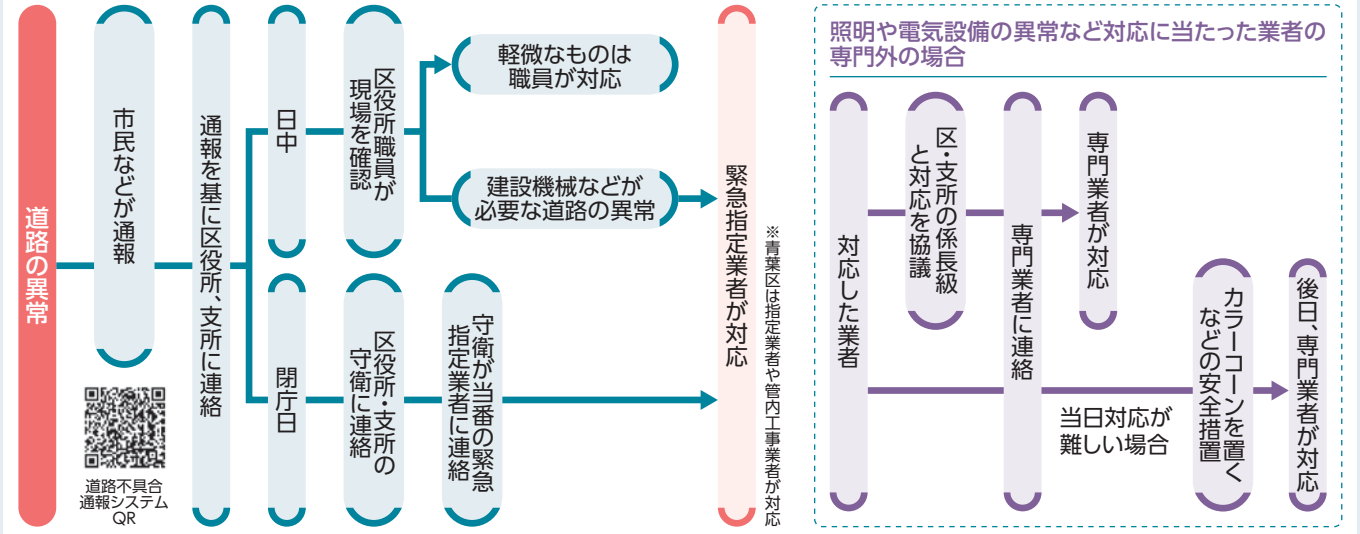
仙台市は凍結するものの頻繁に積雪がある地域ではないため、積雪がある限られた時間で除雪機のオペレーターを育成する必要があります。そこで同社は若手と熟練者で班を編成。車や人が少ない朝方に除雪車を動かすなどして操作方法を身に着けています。

除雪に向けた社内の体制づくりも欠かせません。天気予報を逐一チェックし、降雪の可能性がある日は出動に備えて待機することも。市民が安全に道路を通行できるよう、心掛けています。

夜間の除雪作業

応急的に陥没箇所を埋める

道路異常への対応フロー



細やかな指導で危険の芽を摘む!

協会内・外で活躍する安全指導員

仙台建設業協会の労務・安全管理委員会の下部組織となる安全指導員会。この会の構成メンバーとなる安全指導員の皆さんは、仙台市内のインフラ整備を安全面から支えている貴重な存在です。このコーナーでは、協会内・外で活躍する安全指導員の活動を紹介します。

Word
安全指導員
会員企業で安全管理関係部署に所属している方や、社内検査を担当している方々で、建設工事における安全のスペシャリストです。自社での日常業務の合間を縫って、協会内外の安全管理活動に協力しています。令和5年度は11人が委嘱されています。

主な活動

安全パトロール

仙建協主催　雇用・安全管理パトロール（年2回）

会員企業が仙台市内で施工している現場を対象に、労務・安全管理委員会のメンバーと安全指導員が現場を巡視し、安全管理体制を確認しています。

現場を巡視

安全関係書類の確認も

仙台市主催　合同パトロールへの協力（年3回）

労働災害防止連絡協議会主催　建設工事安全パトロール（年1回）

仙台労働基準監督署と仙建協で組織する労働災害防止連絡協議会が主催する安全パトロールです。監督署の専門官をはじめ、仙建協の労務・安全管理委員会と安全指導員、工事発注担当課の職員などが参加します。

仙台地区木造家屋等建築工事安全委員会主催　木建パトロール（月1回・計12回）

仙建協の安全指導員1名と木建委員会のメンバー 1名が、仙台労働基準監督署の職員とともに仙台市内の木造戸建て住宅の建築現場を抜き打ちでパトロールします。1日に6現場ほどを回ります。

安全関係会議への出席

労働災害防止連絡協議会主催　定期会議・各社安全衛生担当者全体研修会

事故発生状況や安全関係法令、安全対策などについて情報を共有し、社内での水平展開を図ります。

仙台地区木造家屋等建築工事安全委員会と幹事会の合同会議（年2回）

仙建協の安全大会

会員各社の代表者や安全管理担当者が一堂に会し、労働災害ゼロに向けて安全意識の高揚を図っています。

仙台労働基準監督署・労務安全委員会と安全指導員会の意見交換会

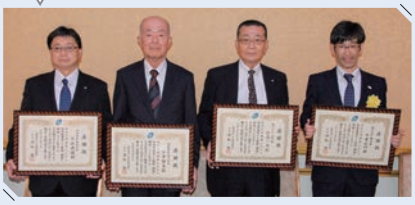
安全指導員研修会（年3回）

全国建設業労働災害防止大会への参加

▶令和5年度

代表幹事	嶺岸建志（後藤工業㈱）
幹　事	佐藤　修（㈱阿部和工務店）
	大平伸夫（㈱深松組）
	香月健一（仙建工業㈱）
	宮崎泰成（中城建設㈱）
	上西　敬（日建工業㈱）
	萩原陽一（栗村建設興業㈱）
	及川浩一（皆成建設㈱）
	小野　亨（河北建設㈱）
	村上俊彦（赤坂建設㈱）
	村山英明（㈱橋本店）

ありがとうございました



2023年度の仙建協の総会では、長年にわたって安全指導員を務めてきた4名の皆さんに感謝状を贈呈しました。

おしえて先輩 もっと知りたい！ 建設業の仕事

仙台市立仙台工業高校 在校生＆卒業生 第5回座談会

フォーサイトでは今年も、仙台市立仙台工業高校土木科・建築科の生徒と、仙台建設業協会会員企業で活躍する同校卒業生の座談会を企画しました。地元建設業の発展を担う多くの人材を輩出している仙台工業高校は、社会の即戦力となるスペシャリストの育成に力を入れています。座談会では、地元建設会社の若手社員である2人が、建設業の仕事や将来の進路選択に関する生徒の疑問に答えました。

前列：左から寒河江さん、阿部さん、田中さん、千葉さん、後列：左から早坂さん、猪又さん

初めに自己紹介をお願いします。まずは高校生の皆さんから、仙台工業高校に入学した理由や、将来の進路について考えていることをお聞かせください。

寒河江（土木科） 私はオープンスクールに参加した際、土木は橋やトンネルだけではなく、生活に必要な基盤を整備することができると知り、人々の生活を陰で支えていることに魅力を感じて土木科に進むことを決めました。今後は大学への進学を希望しています。

阿部（土木科） 私もオープンスクールで橋の模型や測量の器械を見て、単純にすごいな、楽しそうだなと感じたので、新しいことに挑戦するチャンスだと思い入学しました。進路はまだはっきりとはしていませんが、建設業に携わって現場でバリバリ働きたいと考えています。

千葉（建築科） 父が左官の仕事をしていて、現場で仲間と賑やかに仕事をしているのが楽しそうだったので、私も建築科のある仙台工業高校に入学しました。卒業後は就職を希望していて、施工管理の技術者として現場で働きたいと思っています。

田中（建築科） 私は中学生の頃に建築の仕事や大工に興味を持ち始めて、女の人で建築の仕事ができたらかっこいいなと思い、この高校を目指しました。授業では図面を書くのが好きなので、大学へ進学して将来は設計事務所に入りたいです。

続いて卒業生の皆さんです。なぜ建設業で働きたいと思ったのかを交えてお話してください。

早坂 奥田建設に勤務して7年目になります。土木の現場で施工管理の仕事をしていて、作業員さんたちを動かすような立場になります。形として残るもの、地図に残るものを造りたいということと、あとはシンプルにものづくりが好きだったことが、建設業に就職した一番の理由です。

猪又 私は深松組で働いています。小学校でバリアフリーの授業があり、どんな人でも過ごしやすい環境をつくることができることを知って建築に興味を持ったことが、建設業の仕事に就いたきっかけです。現在施工管理の仕事をしています。まだ2年目の新人なので、写真撮影をしながら現場の安全管理を行っています。また、工事の流れを見て覚えることも仕事の一つです。

ではここから、生徒さんからの質問に卒業生の方が答えていただきたいと思います。

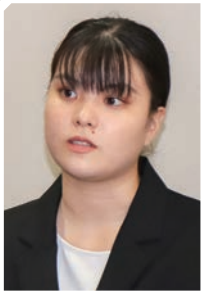
阿部 まずは、一日の仕事について教えてください。

早坂　立場や役割によっても異なりますが、私は一日のうち、現場に出る仕事が半分、事務作業が半分くらいです。事務作業では書類を作成したり、図面を作ったりします。1、2年目の頃は、とにかく現場に出て身体も動かしながら仕事を覚えました。

猪又　私は8時から朝礼の司会をして、その後は現場巡回や事務所での作業を行います。昼食後は13時から昼の打ち合わせがあり、その後は午前と同様で、17時に退勤します。

寒河江　今までを振り返って、大変だった仕事は。

奥田建設（仙台市）
土木部
早坂 拓海（はやさか たくみ）さん
2017年3月卒（7年目）



深松組（仙台市）
建築部
猪又 菜環（いのまた さわ）さん
2022年3月卒（2年目）

早坂　まず、1年目に経験した橋の基礎工事です。生コンクリートの打設時に朝6時から現場を動かし、終わったのが夜の0時だった時もありました。あとは、国道45号の道路工事を担当した時は夜間工事だったので、昼夜逆転の生活をしていました。このほか、現在携わっている河川工事もそうですが、急に天候が崩れて作業のやり直しが必要になることもよくあります。やはり環境や天候に左右されるので、どの現場も苦労しますね。

猪又　私は入社して間もない頃、連日の大雨で作業場所に膝の高さくらいの水がたまっていて作業ができない状況になり、水替え作業を行ったことが大変でした。このほかに仕事で大変だなと感じるのは、先を見通して動くことですね。全体の流れを理解していないとできないことなので、苦労しています。

寒河江　どんな仕事をしたときにやりがいを感じますか。

早坂　自分が携わった土木構造物を見たり歩いたりした時に、無事に完成して良かった、やって良かったと心から感じます。どの現場も苦労したことを思い出しますね。

猪又　私も自分が携わった建物で人が生活しているのを見かけるととても嬉しくなります。また、改修現場などで建物を利用している方から『お疲れ様です』『ありがとうございます』という声を掛けていただいた時に、もっと頑張ろうと思うことができます。

阿部　仕事をして身に付いたことを教えてください。

早坂　私は管理の立場で人を動かす側なので、年上の方とコミュニケーションを取る中で付き合いを深め、相手がどんな人か感じ取る能力が身に付いたかなと思います。

猪又　私も年上の方とコミュニケーションを取る力が上がりました。現場では自分よりも年上の方とばかり接するため、それぞれの人に合った接し方ができるようになりました。

早坂　社会人のマナーとして身に付けておきたい礼儀やあいさつは、仙台工業高校にいれば卒業までに自然に身に付いてくると思うのでそこは安心してほしいと思います。

田中　現場での仕事は、女性も男性と同じような仕事内容になりますか。

猪又　基本的には同じです。ただ、周りの方は配慮してくださっているように感じています。重い物を運んでいる時は上司や先輩、職人さんが手伝ってくれますし、逆に『重いから一緒に運んで』と手伝いを求められることもありますよ。

土木科
2年生
寒河江夏輝（さがえなつき）さん

早坂　私は女性と同じ現場で働いたことはないのですが、作業内容に応じて違うこともあるかもしれませんね。

千葉　休日はしっかり休むことができますか。

早坂　天候に左右されやすいので、工事が遅れてしまっている時などは休日出勤する場合もありますが、基本的に土日は休めます。特に現在の現場は週休2日のモデル工事になっているのでしっかり休んでいます。

猪又　私も今の現場ではしっかりと休みをいただいています。弊社は土日が休めなかった場合でも、現場が終わった後などに、その分の休みをさかのぼって取ることができますよ。

千葉　高卒と大卒で差を感じたところはありますか。

早坂　専門的な知識は個人によって差があるかもしれませんが、現場はやはり見て覚える、自分で動いて覚えることがメインですし、現場に必要なことは判断力や対応力になるので、高卒と大卒の差はほとんどないと思いますね。

猪又　確かに私も知識やビジネスマナーに不安がありましたが、ビジネスマナーは各

土木科
2年生
阿部 ゆな（あべ）さん

建築科
2年生
田中（たなか）みのりさん

社で研修があると思いますし、そのほかは現場に出てみないと分からないことも多いので、高卒も大卒も違いはないと思います。弊社は仙台工業高校の卒業生が多く在籍しているので、その点も安心できました。

田中　男性と女性とで給料は異なりますか。

猪又　高卒か大卒かで違いはありますが、男女で違いはありません。

早坂　弊社も男女での違いはないと思います。

阿部　現場での女性の働きやすさはいかがですか。

猪又　とても働きやすくなってきていると思います。例えば衛生面ですが、女性の職人さんから、『女性の技術者の方が増えてトイレもきれいになったのでありがたい』と言われました。

早坂　女性は身の回りのことなど細やかで、気づく点が男性と違いますよね。視野が広いというか。今は業界全体で女性の活躍を推進していて、女性専用のトイレや更衣室を設置している現場もあるようですし、設備面もずいぶん整ってきていると感じます。

寒河江　会社選びで一番重視したことを教えてください。

早坂　私は大きい工事に携わってみたいという気持ちがあったので会社の規模です。あとは求人票の給料、賞与を参考にしました。

猪又　私は地元企業であることを重視しました。自分の生まれ育った街で新しい建物を造ったり、古い建物を改修したりしてみたいと思っていたからです。女性社員に仙台工業高校出身の先輩がいたことも決め手の一つでした。

千葉　取得して良かった資格はありますか。

早坂　やりたいことによってどういう資格が必要になるかは変わってきますが、施工管理技士は何年経っても武器になりますので、取得を目指してほしいと思います。高校生のうちに学科試験は受けることができますのでチャレンジしてほしいですね。

猪又　私も施工管理技士の学科を受けることをおすすめします。2級の学科を取得しておけば、社会人になってからは2級の2次試験と1級の学科に専念できるというメリットもあります。

田中　建設関係の仕事に就きたいと思っている高校生に伝えたいことはありますか。

猪又　今までは3K（きつい、危険、汚い）と言われていましたが、近年は建設業全体で働き方改革が行われていますし、仕事も現場は協力し合い、助け合いながら進めています。職人さんも気さくで優しい方ばかりです。不安を感じずに建設業に進んでほしいと思います。

建築科
2年生
千葉（ちば）颯哩（ふうま）さん

早坂　私からは、具体的な自分の将来像を持っておいてほしいということを伝えたいです。現場の仕事は天候や環境に左右されるので、大変な場面もあると思います。その時に、自分が何のために仕事をしているのかということを見失わずに、強い意志と根性があれば乗り切れると思います。

これまでの話を聞いて、高校生の皆さんが感じたことを教えてください。

寒河江　土木のことや、建設業の仕事のやりがいなどを知ることができて、とても有意義な時間になりました。

阿部　私は一日の仕事流れが参考になりました。現場は天候に左右されるということもお聞きし、大変だけど建設業の仕事に就きたいと改めて思いました。

千葉　私は実際の現場での仕事について、私たちが思っている以上に仲良くワイワイ仕事をしている印象を持ちました。早く働きたいという気持ちが増しました。

田中　中学生の時から建築に携わりたいという思いがあったので、実際の現場の動きや仕事をしていく上で大切なことは何かを聞くことができて、今後の進路選択に向けてとても参考になりました。

最後に、卒業生のお二人から高校生の皆さんへメッセージを。

早坂　まずは高校生活を楽しんでもらいたいということが一つです。遊びも含めて、ぜひ充実した学校生活を送ってほしいと思います。また、どんな職種も共通すると思いますが、実際に仕事をしてみないと分からないことがたくさんあります。専門的なことは仕事をしながら覚えていくものでもありますので、そのあたりは心配しないで進路を決めてほしいと思います。

猪又　高校生の頃は友達と毎日当たり前のように顔を合わせていますが、社会人になると予定を合わせるのが難しくなります。今のうちにぜひ友達と遊んでください。工業高校では同じ志を持つ人たちが一つのクラスに集まっていますので、就職してからも『この仕事つらいよね』なんて話を分かり合える同志ともなります。友達を大事にして、卒業してからも助け合いながら仕事をしていける関係でいてもらいたいと思います。

どうもありがとうございました。

仙建協だより

トルコ・シリア地震に義援金
仙建協など3団体

仙建協、宮城県解体工事業協同組合（佐藤正之理事長）、宮城県産業資源循環協会仙台支部（鈴木昇支部長）の3団体は3月30日、23年2月に発生したトルコ・シリア地震の被災地に義援金を送るため、日本赤十字社宮城県支部仙台市地区本部長を務める郡和子仙台市長に義援金の目録を手渡しました。会員企業のうち126社から330万円が集まり、日赤を通じて被災地に届けられました。

深松会長は「震災当時、トルコの救援隊が仙台市を拠点に活動に当たる姿を見ていました。当時、私たちは世界中からお世話になりました。このことを忘れず、恩返しを続けていきます」などと述べ、目録を手渡しました。受け取った郡市長は「速やかな対応に感謝し、早急に送金します。震災での経験、知見は世界の防災に役立つため、これらを全国や世界に発信していきます」と話しました。

左から鈴木支部長、郡市長、深松会長、大久保副理事長

「新4K」へ働き方改革推進
2023年度定時総会

5月10日、仙台市の江陽グランドホテルで2023年度定時総会を開きました。コロナ禍を背景に4年ぶりの対面開催となった今回は、給料が良い・休暇が取れる・希望にあふれる業界を目指す「新3K」に加え、「かっこいい」をプラスした「新4K」に向かって一丸となることを決めました。

深松会長は、仙台市に対し行った入札条件の見直しなどの要望がおおむね理解を得られ手応えを感じたことに触れ「了承してもらったことで、24年度上期から建築工事で総合評価の簡易型が試行となる見込みとなりました。今後も要望を続けていきます」と意気込みを話していました。

議事では23年度の事業計画を承認。また議事後には22年度末に退任した仙建協の安全指導員4人に感謝状を贈呈しました。

総会後は会員や関係者約120人で懇親会を盛大に開催しました。

深松会長

8月
- 常任理事会・第172回理事会
- 東北工業大学・東北学院大学の学生による会員企業見学会

9月
- 仙台労働基準監督署・労安委員指導員意見交換会
- 第3回集団資源回収運動
- 仙台市との意見交換会
- 広瀬川1万人プロジェクト・第34回一斉清掃（千代大橋）参加

10月
- 2023年度安全大会
- 第60回全国建設業労働災害防止大会（広島）
- 第2回雇用・安全管理パトロール
- 2023年度第2回仙台労働基準監督署・仙台市合同安全パトロール
- 環境福祉委員会寄贈式

11月
- 常任委員会・第173回理事会
- 2023年度建設工事安全パトロール
- 宮城県建設業協会防災訓練参加
- 第4回集団資源回収運動

12月
- フォーサイトNo.67発行

高校生がICT技術を体験
仙台工高インターンを受け入れ

7月は仙台工業高校2年の土木科、建築科の生徒のインターンシップを受け入れました。11～13日は土木科、12～14日は建築科の生徒が会員企業を訪れ3日間の日程で学び、卒業後の進路を考えていました。

このうち土木科の15人は、班に分かれ会員5社で見学。深松組では生徒3人がICT登載のバックホーを間近で見学し、ドローン操作を体験しました。

3人は「滅多にない機会で、充実したインターンシップになりました」「最先端の技術を目の当たりにし、ここでの学びを今後に生かしたいです」などと感想を話しました。

土木科のインターンは同社のほか、伸和興業、丹勝、東北リアライズ、長谷川建設が受け入れ、建築科は佐元工務店、仙建工業、中城建設、橋本店が協力しました。生徒は24年1月の校内発表会でこのインターンシップの成果を披露します。

指導を受けながらドローンを操作する仙台工高の生徒

★事務局だより★

コロナ禍が明けてからの事務局は、対面での会議や懇親会などが再開し、ほぼ平常通りに戻りました。会員の生の声を聴き業務に反映させ、よりよい事務局を目指しています。コロナ禍で導入したリモート会議などは引き続き行い、対面と併用しながら業務の効率化を図る方針です。

総務担当の島貫美香さんは「5月以降、マスク無しで会員の皆さんの顔を見ることができるようになり、これまで以上に親近感を持って接することができています。今まであった壁が取り払われたように感じます」、経理担当の阿部康孝さんは「これまで規模を縮小していた行事が通常開催となり、コロナ禍以前と同様、それ以上に会員の皆さんに貢献できる事務局にします」とそれぞれ意気込んでいます。

河川美化の一躍を担う
千代大橋を担当

仙台市などを流れる広瀬川の一斉清掃「広瀬川1万人プロジェクト」を4月11日、9月23日に行いました。ごみ拾いや草取りで河川敷の美化活動に汗

秋の広瀬川1万人プロジェクト

を流しました。

仙建協は毎年参加しており、若林区の千代大橋会場の運営を担当しています。

会員会社の社員たちは千代大橋下流左岸の広場に集合し、上流に向かいながら活動を展開。秋の活動では持参した鎌で草を取ったり、園路に流入している土を取り除いて道を整えたりしました。

若手や総務担当者の交流会を開催

2023年は、若手社員や総務担当者の交流会も開催しました。

若手社員向け交流会は6月2～3日の2日間、仙台市の秋保リゾートホテルクレセントで行いました。建設業でも若手の離職が課題になっていて、中堅や若手と同年代の社員がいないといった企業があります。相談相手がいないことなどによる離職が増えているとして、これを防ごうと企画。交流会には20～30歳代の25人が集まりました。

参加者は研修で地域建設業が担う役割や重要性を学んだ後、グループで課題を解くなどして交流を深めました。

総務担当者会議は9月12日に初めて開きました。34社が参加し、ここ数年で改定となった定款や協定を確かめたほか、仙建協事務局と情報周知をスムーズに進めるための術を考えました。

若手研修会で交流を深める参加者

災害対応へ手順確認

青葉区との合同訓練

仙建協は毎年6月に仙台市内の区役所と合同防災訓練を行っています。6月15日は青葉区と実施し、区役所、仙建協事務局、現場にそれぞれ職員を派遣し、災害時の連携手順を確認しました。

当日は9時にマグニチュード8・0、最大震度6弱の地震が発生し、市内各地で被害が相次いでいると想定しました。事務局には仙建協の役員に加え、役員会社の連絡員が参集。連絡員は、区内会員会社の被災状況や出動可能な会社数・人数・重機数を集計し、各区の隊長社経由で、仙建協事務局に伝えました。また区役所にも別の連絡員を派遣し、無線で区内の被災状況の把握に努めました。

今回は、桜ケ丘公園の法面崩壊、市道・川内三十人町線沿いの石垣が崩落し、区役所から応援要請があったという想定の訓練。被災現場に職員が急行し、区役所職員と合流して現場確認に当たりました。実際の災害では、必要な資材や応急措置の方法をその場で判断します。

24年度からは全5区役所で一斉に訓練を行う予定です。

それぞれの役割を確認した

新しい顔ぶれ

（代表者変更）

2022年8月9日　㈱吉田工務店
代表取締役　吉田　忠弘

2022年11月8日　銅谷建設㈱
代表取締役　枝松　茂雄

2022年12月1日　庄子建業㈱
代表取締役　庄子　大蔵

2023年4月1日　東日本コンクリート㈱
代表取締役社長　末竹　一春

2023年9月4日　㈱橋本店
代表取締役社長　武田　文孝

2023年9月13日　㈱広瀬組
代表取締役　渡辺　利宣

（入会）

2023年9月6日　㈱ビルド
代表取締役　大沼　昭

（退会）

2022年10月31日　㈱三浦勇工務店
2023年3月31日　山川建設㈱

行事報告

1月
- 第3回仙台労働基準監督署・仙台市合同安全パトロール

2月
- 仙台市への要望
- 常任理事会・第170回理事会

3月
- 第5回集団資源回収運動

4月
- 第171回理事会
- 広瀬川1万人プロジェクト・第33回一斉清掃（千代大橋）参加

5月
- 2023年度定時総会
- 5区役所災害応急措置協力説明会
- 第1回集団資源回収運動

6月
- 第1回雇用・安全パトロール
- 仙台地区木造家屋等建築工事安全委員会
- 宮城県土木部施工管理技士会仙台支部代議員会（代表開催）
- 仙台市防災訓練参加
- 第31回災害防止協議会定期会議
- 青葉区との合同訓練
- 仙建協情報伝達訓練
- 会員会社若手社員宿泊研修会

7月
- 仙台工業高校【土木科】【建築科】現場実習受け入れ（3日間）
- 2023年度第1回仙台労働基準監督署・仙台市合同安全パトロール
- 仙台建設業協会2022年度施工仙台市優良工事表彰（伝達）
- 第2回集団資源回収運動

仙台市内12カ所へ

福祉施設に寄付

社会福祉活動の一環で1月に市内12カ所の知的・精神・身体障害者福祉施設に計60万円を寄付しました。コロナ禍の影響で贈呈式は行わず、昨年と同様に送金を行いました。

寄付先は就労継続支援B型事業所や生活介護事業所などが含まれており、利用者の活動に役立てられます。寄付は今回で33回目。

今年も資源回収運動を継続

収集金で環境教材を寄付

仙建協の集団資源回収運動が、今年で5年目を迎えました。会員各社や家庭から出る資源ゴミを協会各地区単位で回収し、収益を福祉事業として社会に還元しようという取り組みで、年5回の回収を予定しています。

11月6日には、5年目の収集金で仙台市の環境学習拠点「せんだい環境学習館たまきさんサロン」にモニタリングスコープ、マイクロスコープといった環境学習教材や建設関連書籍を贈りました。

贈呈式の様子

フォーサイト 2023/NO.67

発行／(一社)仙台建設業協会 仙台市青葉区支倉町2-48 TEL.022(265)7094(代表)

発行所 一般社団法人 仙台建設業協会 発行 2023年12月

STAFF ■発行人／深松努 ■編集人／熱海義浩 ■編集スタッフ／三浦修・土山拓・渡邊友紀・青田茂雄・阿部康孝・島貫美香
■編集協力／建設新聞社 ■印刷・製本／建設プレス